

優しい心 ・ 発信



ショウブ

花言葉・・・「優しい心」

校長 山浦 麻紀

新年度がスタートして早いものでもう1ヶ月が過ぎました。ショウブの茎の凜と立つ姿、さわやかな色彩でつぼみ膨らむ姿は、まさに本校の生徒たちのように感じます。

土曜授業の学校公開の授業参観、保護者会には、多数ご参会いただきありがとうございました。様々な行事等が矢継ぎ早に行われたあわただしい4月でしたが、生徒達は新しいクラスにも馴染み、落ち着いて活動に取り組んでおります。子どもたち、一人ひとり、よく頑張っています。嬉しい限りです。

さて、体育祭が、あと3週間後に行われます。運動部の学校総合体育大会もあと1か月で当日を迎えることとなります。その体育祭や大会に向けて練習等に励んでいるところですが、練習の成果が十分発揮され、納得のいく試合ができることを願うと共に、応援いただいている保護者の皆様、地域の皆様、指導している先生方に改めて感謝いたします。

「練習はうそをつかない」と言われます。普段の練習をしっかりとした者がその成果を発揮できます。逆に練習したこと以上のことは試合には出せません。だから練習するのです。でも、どんなに一生懸命に練習をしても、いざ本番となると「あれもやっておけば。」「あの程度で大丈夫だろうか。」など不安は起こるものです。そんな不安を取り除くために「自分はこれだけやったんだから大丈夫。」と自分自身を安心させる材料が必要になってきます。そして、不安なときは一緒に頑張ってきた仲間の顔を見てください。きっと勇気が出るはずです。そして、どんなに小さな事でも良いので顧問の先生や担任の先生等に相談して下さい。岸中の先生達は、岸中の子どもたちが大好きですから。

是非、「あと3週間もある」「あと1ヶ月もある」と思い、自分やチームがさらに成長できることを信じ、自分を応援し、仲間を応援し、頑張り抜いて下さい。

ところで、始業式・入学式・朝礼時の皆さんとの約束・お願いは、『**美しい心**』を**発信して欲しい**』、**具体的には、「人間一人ひとりを大切にしたい」**・・・ということでした。さて、クラスの友達を大切にしていますか？部活動の先輩や後輩を大切にしていますか？家族を大切にしていますか？そして、自分自身を大切に・・・していますか？

人間誰にでも、必ず、良さがある。合わせて不得手なこともある。相互に足らなさを責めるのではなく、よさを認め合い、足らなさを補い合い・・・さらに『美しい心』そして、『優しい心』を発信し、笑顔溢れる質の高い集団を目指していきたいと思ひます。